

# 統合療法コンベンション 見放題スタート!

がんコントロール協会にご入会いただくと、過去に開催された「統合療法コンベンション」の動画をいつでもご覧いただけます!

## 視聴可能コンテンツ

- ・統合療法コンベンション2021
- ・第26回 統合療法 日本がんコンベンション
- ・第25回 統合療法 日本がんコンベンション
- ・第24回 統合療法 日本がんコンベンション



## その他の会員特典

- ① 統合療法コンベンション、本協会主催セミナーに特別価格でご参加いただけます。
- ② 正常分子栄養学に基づいた健康相談やアドバイスが無料で受けられます。(要予約)
- ③ 統合療法に取り組む医師・医療機関をご紹介します。
- ④ 月に一度、統合療法に関する会報誌をお届けいたします。

## 年会費

10,000円(税込)  
[支払方法] クレジットカード・銀行振込

## 入会はこちら


がんコントロール協会 検索
npo-gancon.jp


**慢性疾患を改善する療法**

最後のブロックでは、青山セントラルクリニック院長の田井真愛(たのい・まさえ)先生が「6スポット療法」について解説しました。6スポット療法を一言で表すなら、「急性・慢性の炎症を抑え、鼻の機能を改善し、自律神経を整える治療法」。鼻粘膜や副鼻腔、鼻咽頭、扁桃などの6つのスポットを刺激する療法で、様々な疾患や慢性症状が治癒すると話題を集めている療法です。

適応疾患としては副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、中耳炎、扁桃炎などで、これまでアトピー、頭痛、喘息、リウマチ、うつ病、肩こり、潰瘍性大腸炎などにも効果が確認されています。田井先生は、実際の治療の映像を公開しながら、原因不明の咳に悩まされていた50代女性、目のかすみ・めまい・偏頭痛がある28歳男性の改善例を交えて講演しました。終了後には、「実際にやってみよう」といった声が多数寄せられました。

トリを務めたのは、がんコントロール協会顧問ドクターの秋山真一郎先生です。「がん治療における必須の栄養サポート」をテーマに、がんの栄養療法の原則として炭水化物と塩分を極力少なくすること、さらにはタンパク質、植物由来の栄養素、ミネラルを十分にとる必要性を訴えました。治療が難しいスキルス胃がんを栄養療法で克服した症例を紹介し、これからのがん治療に希望を与えました。

